

広報

# こおりまち

1

Jan.2022  
vol.625



献上桃の郷。  
桑折町  
こおりまち

# 新

年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

一昨年より猛威を振っている新型コロナウイルス感染症については、町民の皆さまの命と暮らしを守ることを最優先に、ワクチン接種をはじめとした感染拡大防止策はもとより、地域経済と生活支援策に対しても、切れ目なくスピード感をもって取り組んでまいりました。現在のところ、小規模状況が続いていますが、新しい変異株「オミクロン株」が日本でも拡大の懸念があることから、町民の皆さまには、今後とも引き続き、基本的な感染防止対策の徹底に取り組まれますよう、ご協力をお願い申し上げます。

昨年は、役場新庁舎の開庁や28年連続となる本町産桃の天皇家・宮家への献上、相馬福島道路の東北自動車道との結節と全線開通、桑折西山城の魅力を全国に発信した「第28回全国山城サミット桑折大会」の開催、早期の利活用が待ち望まれていた福島蚕糸跡地への「商業施設を核としたここにしかない複合施設」の誘致決定など、現総合計画「献上桃の郷こおり 創生プラン」の総仕上げの年にふさわしく、これまでの取り組みが結実した年でありました。

本年は、コロナの克服はもとより、激甚・頻発化する自然災害やデジタル社会の進展、地方創生SDGsの推進など、激変する社会情勢に対応すべく、新総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」の初年度として、着実かつ力強いスタートを切るため、町民の皆さまと共に、「桑折ならではの」施策の展開を通し、「住み続けたい 住みたいまち 桑折」の実現に向け、職員一丸となって行政執行にあたってまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 新

年明けましておめでとうございます。皆さまには、穏やかに初春を迎えられたことと存じます。本年が皆さまにとって良き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。また、旧年中は議会活動各般に対し、ご理解とご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は1月に役場新庁舎の開庁、4月には相馬福島道路の全線開通、7月には28年連続での献上桃認定、9月には定例会にて令和4年度から向こう10年間の新総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」の可決、さらに、10月には全国山城サミット桑折大会の開催成功など、本町においての一層の発展基盤が整ってきた年でした。

一方では、2月の福島県沖地震被害や4月の凍霜害、そして、一昨年から新型コロナウイルス感染症などで、日常生活や地場産業へ大きな影響がありました。改めて被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。コロナ禍により、議会活動も抑制され、十分な活動が出来ませんでしたが、町内では、福島県沖地震に対し、修繕費や解体事業費などの早期議決、凍霜害に対しては、現場視察と要望活動、感染症対策として、商工会と意見交換を行いながら、事業者支援のあり方を調査し、町へ提言してきました。また、広域的には、町議会が永年にわたり県に要望活動を重ねてきた伊達崎橋架け替え調査費が決定されるなど、一定の成果も得たところであります。

今、社会は人口減少問題や自然災害対策など、多くの課題に直面しています。今後も、議会は町民の皆さまが安全安心で暮らせるまちづくりのため、議会モニターの見聞も踏まえながら、議会機能を十分に発揮して行政を監視し、町勢発展のため、一層の努力を傾注してまいります。どうかご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

New Year's greetings 2022

## 新年のごあいさつ



桑折町長 高橋 宣博



桑折町議会議長 片平 秀雄

# 福島蚕糸跡地に新たな交流スポットが誕生

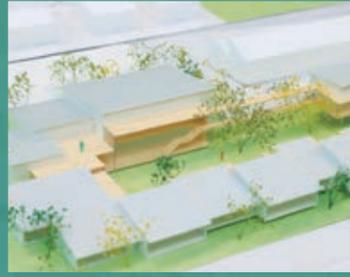
## 配置案が決まりました

福島蚕糸跡地活用については、株式会社いちいと社会福祉法人松葉福祉会と協定締結（令和3年6月8日）後、打ち合わせを重ね、この度、配置案が決まりましたのでお知らせします。



### 町に溶け込む 自然豊かな「認定こども園」

幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園として、乳児から未就学児まで一貫した方針のもとで保育・教育を実施。病児・病後児保育（自園型）や一時預かり保育も行う予定です。今後も待機児童ゼロを維持していきます。



### 新しい人の流れを生み出す「アウトドア施設」

約4,600㎡の敷地にグランピングやオートキャンプ、フリーサイト、サニタリー施設を設置。フリーサイトでは、マルシェや各種イベントを通じて、桑折町の魅力を発信します。町内外から新しい人の流れを呼び込みます。



### 地産地消で魅力発信「スーパーマーケット」

地場農産物を中心とした直売所を設置。地元商店会の地場商品や6次化商品の品ぞろえも強化していきます。また、店内には、来訪者のコミュニケーションの場として、パブリックスペースを設置。さらに移動販売も展開します。



※本内容は、令和3年12月現在のもので、今後の協議などにより、変更となる場合があります。

### 人が集う場に

町の中心部に位置し、広く優良な土地である、福島蚕糸跡地。震災以降、災害公営住宅や蚕糸記念公園に活用してきましたが、残る2・2畝は、長年未利用地となっていました。

昨今人口減少や高齢化の進行が課題となる中、相馬福島道路の全線開通により、交通の利便性が向上し、本町のポテンシャルがさらに高まっています。注目されるこの時期を逃すことなく、「商業施設を核としたここにしかない複合施設」を誘致し、町の皆さんの利便性向上やにぎわい創出、人口増加を図っていきます。

### 魅力ある施設を整備

福島蚕糸跡地の活用については、大きく3つのエリアに分けた配置となります。

敷地南西には、地元農産物を中心とした直売所や誰もが気軽に集えるパブリックスペースを備えたスーパーを配置します。

一方、南東には、グランピング

やオートキャンプが出来るアウトドア施設を配置。グランピングとは、グラマラス（魅力的な）とキャンピングを組み合わせた言葉。ホテルのように手ぶらでお越しただくアウトドアです。マルシェなども開催し、町の魅力を発信していきます。

さらに、北東に保育事業の施設を配置。幼保連携型の認定こども園を開園します。現在の醸造所を閉所し、その機能を新設の認定こども園に移行します。醸造幼稚園は、今までどおり町が運営していきます。

スーパーマーケットとアウトドア施設は令和5年の秋開業、認定こども園は令和6年4月の開園予定となっています。



町の新しい名所に

町の産業が、時の流れと共に養蚕から果樹生産へ移り、「献上桃」が生まれたように、ここ蚕糸跡地も生まれ変わることで、町の新しい名所になると期待しています。また、昨今相馬福島道路などの交通網も発達したことから、桑折町と隣町市町村をつなぐ架け橋となるような施設にしたいと考えています。

弊社の企業理念「地に足の着いた真つ当な商いを」「郷土の皆様と共に歩み共に伸びる」に従い、地域の商店街の皆さまとの連携を深め、また、近隣の皆さまの積極的な雇用も実施していきます。

夢のある楽しさを提供

各施設に「桑折町らしさ」を取り入れたと考えています。スーパーマーケット「いちい」では、子育て・教育を大切にしている町の方針に準じ、学業で使用する文具の品ぞろえを充実させる予定です。また、移動販売「とくし丸」も行い、日ご



(株)いちい 代表取締役社長  
伊藤 信弘さん

代表者に聞く | 施設の魅力は—— |  
Interview

新たに生まれ変わる福島蚕糸跡地。各施設の代表のお二人に、施設に込める思いや意気込み、町民の皆さんへのメッセージを聞きました。多くの人が利用したくなるような、ここにしかない魅力がたくさん詰まっています。

る買い物に不便を感じている方々のもとへ、こちらからお伺いする形で、不便の解消を図っていただけると考えています。また、町の豊かな自然を広く知っていただくため、非日常ではなく、「日常に自然体験」を楽しめるグランピング施設も建設します。駅から近い立地を生かし、町外の利用者を含め、まずは気軽にキャンプを始める入門的な施設として考えています。そこでアウトドアの楽しさを知ってもらい、そこから半田山や今春完成予定の阿武隈川河川敷の多目的広場（伊達崎大中島）の利用につなげていきたいです。

施設のオープンに向けて、当たり前にある利便さ、夢のある楽しさを、皆さまへ提供していきたいと考えています。

子どもは社会の主人公

近年、少子高齢化の急速な進行により、経済規模の縮小や地域社会の活力低下など、社会全般にわたり、深刻な影響が懸念されています。そうした中、将来の地域社会の主人公である子どもたちを育む環境整備は、桑折町においても、最重要課題であると認識しています。

また、家庭環境が変化し続ける今、多様な働き方や生活スタイルに対応した保育が求められています。そうしたニーズに合わせるよう、社会全体で支え合う「子ども・子育て支援」の総合的な取り組みが必要だと強く感じています。

当会は、この重責を担うにあたり、今後とも桑折町との連携

を強め、「まちに溶け込むランドスケープ」と「ひらかれた園舎づくり」を創造し、安全で安心して子育てを楽しんでいただけるよう、誰からも愛される認定こども園の建築計画に努めてまいります。

園のコンセプトは

現在は、予測不能な事象への対応力が求められる時代です。そうした新しい時代を生き抜くために、21世紀に必要なスキルとして、3つの力「創造力」「協働する力」「基礎（思考・判断・表現）力」を育んでいきます。当会の基本理念「輝く太陽のよう」に「をモットーに、子どもたち一人一人に、輝く笑顔と無条件の愛で寄り添い、健全な社会性を育みます。



▲自然を存分に感じられる魅力ある園舎に

また、桑折町は、半田山をはじめ、桃源郷、ホテルが飛び交う美しい小川など、豊かな自然に囲まれた魅力ある町です。そうした「桑折町らしさ」を園舎づくりにも取り入れ、「まちにひらく」「自然との共生」「五感を使った遊び」の観点から環境を整備し、健康な体と豊かな社会性を育みます。

また、町教育大綱に定める基本目標「桑折町の15歳のめざす姿」の実現を目指し、幼保連携型認定こども園として、0歳児から就学前のお子さんを一貫した方針のもとで、教育・保育してまいります。



(社福) 松葉福祉会 理事長  
小松 良行さん

皆さんの疑問に答えます  
教えて! Q&A

この場所は、駅からのアクセスも良く、未経験者でも気軽に来ることができます。町中でのグランピングは全国的にも珍しく、若年層をターゲットに絞りました。

なぜ町中でアウトドアなの?

保育料は、町条例などに基つき町が決定しますので、認定こども園に移行しても、現在と変わりありません。

こども園保育料は上がるの?

これまで仙台市や福島市で保育士として働き、保育所や幼稚園を選べるのが当たり前環境にいました。今回のこども園建設の動きも、子育ての選択肢が増えるので、とても楽しみに感じています。選ばれる施設になるよう互いに切磋琢磨し合い、また、例えば、一方の園が子どもに合わなかった場合、もう一方の園に預けるといった対応もできるようにするなど、利便性も高まると思います。見学会などに参加して、両園の良さを見てみたいですね。



追分  
伊藤 のり子さん

大自然に囲まれたキャンプも良いですが、町中のグランピング施設だと、アクセスが良く、虫の心配もなく、ちょっとした小旅行気分を味わえそうです。全国的にグランピングの関心が高まる中、町独自の魅力をPRできる施設になってほしいです。例えば、「献上桃の郷」として、桃の食べ放題や品種の食べ比べができるなど、食事の面で他と差別化を図るのも良いと思います。また、利用客が町内の観光名所を周遊できるような仕組みも必要だと思います。



桑島西のあ  
渡邊 希亜さん

自宅から町中まで遠く、近所の皆さんとの間で「自分で運転できなくなったら、買い物に困るね」と話題になることもしばしば…。わたしも足を悪くしてから、主人の車でスーパーまで送ってもらったり、冷凍食品の定期宅配便を頼んだりして生活していました。今回いちいが出来ると共に、移動販売も始まると聞いて飛び上がるほどうれしかったです。週1回でもいいので、新鮮な肉や魚、衣類、トイレットペーパーなど、品ぞろえが豊富だと助かります。



中北 さちこ  
長尾 幸子さん

## 社会福祉協議会と防災協定締結 連携を強化し、安全な町に

近年多発する災害に備え、被災者支援体制の充実・強化を図ろうと、町は町社会福祉協議会と「福祉避難所における人的支援に関する協定」および「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を結びました。

協定の締結式が12月3日、役場で行われ、高橋町長と熊谷孔隆会長が出席し、協定書を交わしました。熊谷会長は「これまでの活動はもとより、協定締結を機に、さらに町との連携を強化し、安全安心なまちづくりに努めたい」と話しました。



▶「誰もが安心して暮らせる社会を目指す」と熊谷会長(右)

## 夜空照らすイルミネーション 町中をはなやかに演出

町は、コロナ禍の中、町民の皆さんが元気になるよう、役場前に、町特産品である桃をイメージにしたイルミネーション「ウィンターイルミネーション」を設置しました。12月20日に行われた点灯式では、来場者約150人がラジオ福島鏡田辰也アナウンサーの軽快なトークや歌手aveさんのライブを楽しみました。町内では次の場

所でもイルミネーションを実施しています。

■点灯場所・日程

- ・役場  
1月16日(日)まで  
午後4時30分～10時
- ・旧伊達郡役所  
1月10日(日)まで  
午後4時30分～9時
- ・桑折駅前  
1月30日(日)まで  
午後4時30分～0時
- ・上町チアーズ前  
1月30日(日)まで  
午後5時～0時



▶プレミアム率66・6%のお得な食事券を販売します

## 「Go To Eat こおり」食事券 町内飲食店を応援！

お得なプレミアム付食事券を利用して、感染予防対策に取り組みながら頑張っている町内の飲食店を応援しませんか。1セット5千円分の食事券を3千円で販売します(上限に達したら終了)。

■購入条件 どなたでも購入可能(数量制限なし)

- 販売および使用開始日  
1月7日(金)
- 使用期間  
1月7日(金)～3月21日(日)
- 参加飲食店・食事券販売店  
別添チラシと町ホームページに掲載
- 産業振興課  
商工観光推進室  
582-212126



1\_ 桃の木をイメージ(役場) 2\_ 日替わりで色とりどりに輝く(郡役所) 3\_ 今年30周年を迎えました(駅前)

## 桑

折町で出るごみの排出量は、1日あたり1人1、272g(令和2年度)。全国・県平均も上回り、全国的にごみの量が多い地域となっています。そこで、まず、「地方創生SDGs推進の町」を宣言した町職員が身近なところから取り組もうと、ごみの中の「アルミ缶」に注目し、役場集積場北側に「アルミ缶回収ボックス」を設置しました。これまで役場でごみとして捨てていたアルミ缶を回収し、リサイクルに回すという取り組みです。

現在、桑折町では、アルミ缶は燃やせないごみとして排出されています。伊達地方衛生処理組合でも、アルミ缶のリサイクルを実施していますが、この回収ボックスを活用することで、ごみの排出量削減につながります。町民の皆さんも投入できますので、共に資源回収に取り組みましょう。ただし、アルミ缶以外の物は入れないようお願いします。今、世界規模で取り組んでいるS

## アルミ缶リサイクルから始めるSDGs 資源循環への第一歩 アルミ缶回収を開始



SDGs(持続可能な開発目標)。町内でも、学校や町内会単位で、積極的に資源回収に取り組んでいます。

興味のある団体は、左記まで問い合わせください。

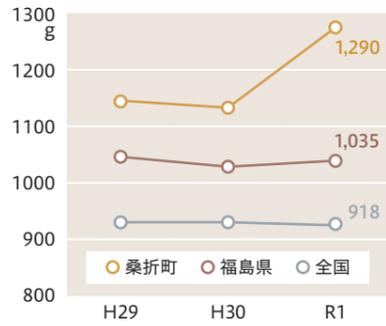
皆さんの一つ一つの行動が、資源を循環させることにつながっています。年末年始は、特にごみの排出量が増える時期です。溜まったアルミ缶は、地域の資源回収や役場の回収ボックスを活用し、SDGsに取り組みしましょう。

### SDGs宣言のまち

町は、「地方創生SDGs推進の町」を宣言し、各分野であらゆることに取り組んでいます。17の目標のうち、今月は「12: つくる責任 つかう責任」の内容を紹介しました。まずは身の回りのできることから実践してみましょう。



図：1人あたりのごみの排出量



資料：一般廃棄物処理実態調査(環境省)



▲カゴをラッピングし、SDGsの取り組みとしてPR

町生活環境課 582-212123



▲「今後も学校から町へ元気を発信したい」と話す高野校長（写真左）と丹治教諭

## 醸 第54回花いっぱいコンクール 芳小が県内最高賞の県知事賞を受賞

第54回花いっぱいコンクールの審査会が10月28日、福島市の福島民友新聞社で開かれ、最高賞の知事賞に醸芳小学校が選ばれました。受賞報告のため、11月25日に、高野孝男校長と飼育栽培委員会の顧問である丹治恵美教諭が役場を訪れました。丹治教諭は「委員会の児童を中心に、全校生みんなで花を育て、3年間かけて徐々に花壇の面積を増やしてきた。夏休み中も花の様子を心配して、水やりをしに来てくれる子もいた。醸芳小の素直な子どもたちの日々の努力が、自然と結果に表れたのだと思う」と笑顔で話しました。

## 安 伊達崎小学校標語作品表彰式 安全な町への思いを17字に託して

交通安全協会伊達崎部会主催による交通安全入選標語の披露式が11月26日、伊達崎小学校で行われました。蓬田隆穂会長ら出席のもと、全校生の中から選ばれた優秀作品10作品の立て看板がお披露目されました。優秀作品に選ばれた児童らは「交通事故のニュースや自分の経験をもとに標語を作った」「運転手も歩行者も、安全に気を付けなければいけないと思う」などと作品に込めた思いを発表しました。

これらの作品は、12月から約1年間、立て看板として伊達崎地区内の道路脇に設置され、地域の皆さんに交通安全を呼び掛けます。



▲「標語を見て、さらに交通ルールに気を付けよう」とみんなで意識を高めました



▲「想像より重い…！」約10kgある1億円のレプリカを持ち上げ、重さを体感

## 税 小学校租税教室 税金の大切さを実感

税金の大切さについて理解を深めてもらおうと、伊達崎小学校で12月10日、租税教室が開かれました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生11人に税金の重要性を説明しました。職員が「小学生一人当たり年間約88万円の税金が使われています」と紹介すると、児童は「多くの人が納めてくれた税金で、学校に通い、勉強させてもらっている。もっと日々の授業を大切にしようと思った」「自分たちも大人になったら、しっかり税金を払って、次世代につないでいきたい」などと思いを新たにしました。

## 成 醸芳幼稚園発表会 長した姿を披露

醸芳幼稚園発表会が12月14日から16日までの3日間、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、年少・年中・年長組に分かれて行われました。

年中組は縄跳びやフラフープ、ダンスなどを交えた劇に挑戦。マスクを付けながらも、堂々と大きな声で、気持ちを込めてセリフを言う姿に、保護者から温かい拍手が送られました。また、ダンスでは、これまでの練習の成果を元気いっぱいに発揮し、保護者にかっこいい姿を見せていました。



▲絵本「ともだちほしいなおおかみくん」をモチーフにした、かわいらしい劇を発表



▲行政連絡員の皆さんに対し、高橋町長自ら今後のまちづくりの指針を語りました

## こ 行政連絡員連合会研修会 これからのまちづくりについて学ぶ

桑折町行政連絡員連合会研修会が11月24日、役場で行われ、行政連絡員35人が参加しました。

佐藤久仁夫会長によるあいさつの後、「これからのまちづくりについて」と題して、高橋町長が講話しました。新総合計画「献上桃の郷未来躍動プラン」の概要や福島蚕糸跡地の利活用、西山城関連のイベントなどの内容について、参加者は真剣に耳を傾けていました。

その後、行政連絡員の業務や町内会の運営について、会員同士で意見交換を行い、日ごろ感じている疑問点や問題点の解決に努めました。

## 町 農業委員会意見書提出 の農業振興のために

町農業委員会が12月17日、町に対して、地域農業振興のため現場からの要望や新規参入促進についての意見をまとめた「農地等利用最適化推進に関する意見書」を高橋町長に直接提出しました。提出後、担い手への支援や遊休農地対策、有害鳥獣対策などの農業が抱えるさまざまな課題について、町長と意見交換を行い、農業経営安定のための収入保険への加入推進や新規就農者への支援策、遊休農地の発生防止などについての意見が出されました。今後も、町と町農業委員会が協力し、農業の発展や課題解決に向けて取り組んでいきます。



▲高橋町長に意見書を手渡す浅尾日出夫会長（写真中央）と佐藤徳雄会長職務代理者



▲「これからも引き続き応援よろしくお願いします」と呼び掛ける佐藤監督（写真左）

## 敢 町駅伝チーム福島県縦断駅伝受賞報告 闘賞の走りを振り返って

桑折町駅伝チームの佐藤圭監督が福島県縦断駅伝の結果報告と町旗返還のため、12月10日に役場を訪れました。今大会の「総合29位、町の部12位、敢闘賞受賞」という結果に対し、佐藤監督は「選手一人一人が力をつけ、特にふるさと選手が区間上位に食い込んだおかげで、前回より12位も順位を上げることが出来た」と分析しました。

大会が終わっても、選手たちは慢心することなく、練習を再開。佐藤監督は「あと3分縮められれば、町の部入賞も夢じゃない。来年こそ、過去最高の『町の部8位』を目指したい」と意気込みました。

## 全 激励金贈呈式 全国への活躍に期待！

激励金贈呈式が12月14日、役場で行われ、全国大会への出場が決まった、齋藤世奈さん（第40回全国高等学校弓道選抜大会）と佐藤昭次さん（第39回全日本バウンドテニス選手権大会）に会田智康教育長から激励金が手渡されました。会田教育長は「コロナ禍で満足に練習できない中、予選を勝ち進んだ皆さんの努力に敬意を表します。持てる力を十分に発揮してください」と激励し、齋藤さんは「団体戦なので、みんなで力を合わせて実力を発揮したい」、佐藤さんは「4回目の全国大会、楽しみながら頑張りたい」と思いを語りました。



▲「練習の成果を発揮して頑張ります」と意気込む佐藤さん（写真右）と齋藤さん

Check

福島税務署からのお知らせ

## 確定申告、こんなときどうする？

### 自宅で申告書を作りたいとき

パソコンやスマートフォンなどから、国税庁ホームページ内の「確定申告書作成コーナー」にアクセスし、画面の案内に従って金額などを入力するだけで申告書が作成できます。作成した申告書は、郵送で税務署に提出したり、e-Tax（電子申告）を利用して送信したりできるので、申告会場に行かなくとも申告することができ、とても便利です。

また、毎年の税制改正に対応した自動計算機能により、計算誤りのない申告書を作成することができます。作成したデータを保存しておけば、翌年の申告作成にも役立ちます。読み取り対応のスマートフォンであれば、マイナンバーカードの電子証明書によるe-Taxも可能です。下記QRコードからご利用ください。



申告書の作成はこちら

QRコードまたは「申告 作成コーナー」で検索してください。操作に関する問い合わせは、「e-Tax・作成コーナーヘルプデスク」☎0570-01-5901まで。

### 税務署で申告したいとき

混雑を緩和するため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。整理券は各会場での当日配付とLINEによる事前発行があります。詳しくは国税庁ホームページをご確認ください。また、入場整理券の配付状況に応じて、後日の来場をお願いすることもありますので、ご了承ください。

#### 税務署の申告会場

場所 ▶ ウィル福島アクティおろしまち（福島市鎌田字卸町10-1）

期間 ▶ 2月16日（水）～3月15日（火）  
（土日祝日を除く。2月20日（日）、27日（日）は開設します。）

時間 ▶ 午前9時30分～午後4時

書類の準備はお早めに、期限内の申告を

# 申告相談始まります

令和3年分の所得税の確定申告と町民税（国民健康保険税）の申告相談を受け付けます。

【問い合わせ】 税務住民課 課税係 ☎582-2114

#### 受付期間

2月9日（水）～3月15日（火）  
午前9時～11時、午後1時～4時  
土日祝日は除く。2月23日（祝）は開設。

#### 受付会場

桑折町役場 1階 町民ロビー  
（桑折町大字谷地字道下22番地7）

★新型コロナウイルス感染防止策のため、1人あたりの接触時間や待ち時間の短縮に努めます。ご協力をお願いします。

#### ～申告相談に関するお願い～

- 各地区的指定日にご来場ください。また、例年午前10時ごろまでは非常に混雑し、待ち時間が発生します。できるだけ避けてご来場ください。午後2時以降は待たずにご案内できることが多いです。
- 次に該当するときは、事前に書類※を作成してからご来場ください。書類未作成の場合は受付できません。
  - ・農業を含む事業所得の申告をする人  
…帳簿類をもとに内容を整理記入した「収支内訳書」
  - ・医療費控除をする人  
…受診した人・病院などごとに分けて各合計額を記入した「医療費控除の明細書」

※役場や税務署で配布、国税庁HPからダウンロード可。任意の様式でも可。

## 申告相談スケジュール

感染症対策のため該当日にお越しください

	月日	対象者
全地区	2月9日 水	年金受給者対象
	2月10日 木	
桑折	2月14日 月	諏訪、東上町、南
	2月15日 火	北町、西町、陣屋
	2月16日 水	本町、西上、中区
陸合	2月17日 木	桑島、桑島西、狐崎、桑折宿舎
	2月18日 金	中屋敷、松原上、牛沢
	2月21日 月	松原中、松原下
全地区	2月22日 火	上成田、平沢、坂町
	2月23日 祝	全地区対象（休日申告受付日）
陸合	2月24日 木	下成田、清水、下方正寺
	2月25日 金	内之馬場、中北
半田	2月28日 月	桐ヶ窪、坂下
	3月1日 火	下高屋、荒屋敷

	月日	対象者
半田	3月2日 水	御免町、六丁目
	3月3日 木	田町、銀栗
	3月4日 金	下半田、久保八幡
伊達崎	3月7日 月	追分
	3月8日 火	館沢、大畑、中屋敷
	3月9日 水	前屋敷、北郷、南郷
	3月10日 木	北沢、上郡上代、中郷
	3月11日 金	道林、吉沼、下郡下
	3月14日 月	根岸、下郡上代

※混雑状況により、午前中來庁されても、午後の受付となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※2月9日、10日は、公的年金受給者を対象に申告相談を受け付けます。公的年金受給者でも、事業所得（営業・農業・不動産）などがある人は、地区ごとの日程でお越しください。

※3月15日は、予備日です。

#### 申告に必要なもの

- ◎マイナンバーカードまたは通知カード（記載内容に変更がないものに限る）
- ・運転免許証、健康保険証など
- ・税務署から届く「確定申告のお知らせ」または、役場からの「申告相談のご案内」
- ・印鑑
- ・申告者本人名義の通帳（還付があるときに振込先を確認します。）
- ・源泉徴収票（給与・年金・恩給・報酬がある人）
- ・収支内訳書（農業・営業・不動産所得がある人）
- ・生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書、国民年金納付額証明書
- ・医療費控除をする人は、医療費控除の明細書または保険者からの医療費通知書（お知らせ）

#### 申告が必要な人

- 令和4年1月1日現在桑折町に住所があり、次に該当する人
- 1 給与所得者のうち以下の人
  - ・給与収入のほかに所得があった人
  - ・2か所以上から給与収入があり、年末調整されていない人
  - ・年の途中で退職し、年末調整されていない人
- 2 個人事業主（営業・農業など）・不動産賃借のある人
- 3 年金受給者のうち以下の人
  - ・障害者年金・遺族年金受給者
  - ・公的年金などの収入金額が400万円を超える人、または400万円以下で公的年金以外の所得がある人
- 4 収入がなく、町内の人の扶養にもなっていない人
- 5 青色申告をしている人
- 6 令和3年中に新たに住宅ローンでマイホームを取得、または増改築した人
- 7 譲渡所得（土地・建物・株式など）があった人
- 8 税務署から通知があった人

#### 申告会場

- 1～3に該当する人  
桑折町会場、税務署申告会場
- 4に該当する人  
桑折町会場のみ
- 5～8に該当する人  
税務署申告会場のみ

#### 令和3年福島県沖地震で被災された皆さんへ

災害によって住宅や家財などに損害を受けた時は、確定申告で、1 所得税法に定める雑損控除 2 災害減免法に定める税金の軽減免除のどちらか有利な方法を選ぶことにより、所得税の全部または一部を軽減することができます。詳しくは、国税庁ホームページ「災害関連情報」、または、福島税務署（☎534-3121）まで。



測って！飲んで！楽しく健康に 第22回

食から育む健康な未来

風邪やインフルエンザが流行する季節。この時期は、特に健康に向き合い、体調を気にする人も多いのではないのでしょうか。先日開催した、食をテーマにした健康楽会の様子を紹介します。

健康でいきいきと暮らしていくためには、まず、「自分の体をよく知ること」と「正しい食生活」が重要です。そこで、町では、自分の健康状態を知り、生活習慣病を予防することを目的に、「健康測定会」と、地元の新鮮野菜や果物を使った「ス

▶ インボディ測定

インボディは、いつでも役場で測定することができます。腕や足など部位別の筋肉量や内臓脂肪量、たんぱく質など、体中の状態を詳しく確認できます。

- 日時 平日 9:00～17:00
- 場所 健康福祉課窓口

ムージーステーション」を11月28日、役場で行いました。午前・午後の部合わせて延べ830人が参加し、測定結果や体験をもとに、改めて健康への意識を高めました。

当日は、会場を3つに区切り、腕や足などの筋肉量や内臓脂肪レベルが詳しく分かる「インボディ測定」や1日の推定野菜摂取量が分かる「ベジチェック」、そして、町産ほうれん草やりんごを使用した、栄養たっぷりの「ビタミンスムージーの試飲コーナー」を設けました。

野菜に親しむきっかけに

「意識して野菜を取っていたのに、全然足りなかった！」「夫婦で同じものを食べているのに、わたしは野菜不足だった」など、さまざまな反

応が見られ、参加者同士で盛り上がった「ベジチェック」。数秒間機械に手のひらを乗せるだけで、野菜の充足度が把握できるとあって、多くの人が体験しました。町と健康増進協定を結ぶ明治安田生命保険相互会社の協力のもと、参加者一人一人



1\_手のひらを機械に乗せるだけで、野菜の摂取状況が分かる機器「ベジチェック」を使い、自身の健康状態を確認 2\_インボディで、筋肉量や内臓脂肪量など、体の内部の状態を細かく測定



3\_出来立てのグリーンスムージー 4\_加藤さん自ら野菜の大切さを参加者に伝えました 5\_「スムージーにすれば、野菜もよりおいしく感じ、手軽に取れそう」と好評の声 6\_どのブースも大人気で、老若男女問わず、多くの人が参加しました 7\_参加者に健康グッズをプレゼント



家族で健康を考える機会に

参加者(西段) 菅野 郁枝さん

加藤さんのFacebookでイベントの告知を見て、「面白そう！」と家族で参加しました。野菜中心の生活を心掛けているのに、ベジチェックで、「野菜不足」との結果が…。健康のために、今よりさらに意識して野菜を取ろうと思いました。楽しみにしていたスムージーも試飲でき、3歳の息子が「りんごとバナナの味がおいしい」と大満足。これからは家族で健康に気を付けたいです。



野菜の大切さを対面で伝える

ローフードマイスター認定講師 加藤 貴和子さん

今回初めて桑折町のイベントに参加しました。感染症の影響で、最近ZOOMやオンラインを通じたイベントが多くなっていましたが、徐々に参加者の皆さんと直接会って、「野菜の大切さ」を伝えることができ、改めて対面の良さを感じました。特に、桑折町は、行政と町民の皆さんの距離が近く、会場の雰囲気があたたかく感じました。皆さんと楽しく健康について学び合えて良かったです。



継続が大切 共に健康づくり

明治安田生命保険相互会社 山之上 翔悟さん

今回の測定会をはじめ、健康ポイント制度など、桑折町には健康づくりに関する事業が多くあります。「今回2回目の測定です」「前回より数値が良くなりました」と報告してくださる方も多く、改めて桑折町の皆さんは健康に対する意識が高いと感じました。健康づくりに関して、一番大切なことは、「継続」です。これからも引き続き、町の皆さんと一緒に健康増進に向けて取り組んでいきたいです。

NEWS

ママ・パパの  
子育て応援します

子育て世代包括支援センター  
「すくすく」の事業案内

町では、これから出産を控えるお母さんやお父さん、保護者の皆さんを対象にした、子育て世代包括支援センター「すくすく」の事業を行っています。

新しい命の誕生に向けて、専門職員が皆さんの不安を少しでも解消できるようにお手伝いします。ぜひお父さんも一緒に楽しくください。

■事業内容  
★母子手帳交付  
毎週金曜日 午後※  
健康福祉課で、妊娠中の経過や出産時の状態、お父さんの発育状態を記録する

母子手帳を交付します。  
★すくすくの日(予約優先)  
毎週金曜日 午後※  
・身長・体重測定  
・お子さんの発育状態を確認・記録します。  
・子育ての困りごと相談  
・ミルクを飲まない・泣き止まない・落ち着かないなど、普段の子育てにおいて困っていることや不安なことについて相談に応じます。個室でゆっくりと落ち着いて相談できますので、ぜひご利用ください。  
★すくすくゼミ  
随時(完全予約制)  
「母親・両親学級」として、妊娠中の過ごし方や食事、出産時の準備物・手続き、赤ちゃんの抱き方、沐浴の仕方など、産前産後の不安解消をお手伝いします。  
※事前連絡により、金曜日以外でも受け付けます。  
■場所 役場 健康福祉課  
子育て世代包括支援センター「すくすく」  
☎582-6045

Recipe

管理栄養士のおすすめレシピ

高野豆腐のグラタン



塩分  
1.3g

- 材料(4人分)  
高野豆腐(乾燥) … 100g  
ブロッコリー … 1房  
しめじ … 1株  
玉ねぎ … 1/2個  
牛乳 … 700ml  
バター … 小さじ2  
コンソメ … 小さじ1  
片栗粉 … 小さじ2  
ピザ用チーズ … 60g

【1食分の栄養価】 エネルギー 328kcal / 脂質 21.5g / 鉄 2.4mg / たんぱく質 24.5g / カルシウム 470mg

■作り方

- 1 パットに高野豆腐を並べて、牛乳400mlを入れて戻し、一口大に切る。ブロッコリーは小房に分けてゆでる。しめじは小房に分け、玉ねぎは薄切りにする。
- 2 フライパンにバターを熱し、玉ねぎとしめじを炒める。
- 3 2に高野豆腐・残りの牛乳・コンソメを入れ、ふたをして5分煮る。
- 4 3の火をとめて、水溶き片栗粉を加えてとろみをつける。ブロッコリーを加えて混ぜ、グラタン皿に4等分にして入れる。
- 5 4にチーズをかけ、オーブントースターに入れて5～6分焼く。

voice / おすすめポイント



栄養が詰まった高野豆腐は、不足しがちなカルシウムや鉄分をたっぷりとれます。冬にぴったりのグラタンにして、家でも作ってみたいと思います。

阿部佳菜さん、暖大くん

check

皆さんも参加しませんか  
健康のためにラジオ体操

上町グループでは、朝6時30分に近隣住民が集合し、ラジオ体操に取り組んでいます。代表の赤坂あけみさんは「毎朝山並みを見て清々しい気持ちになります」と話します。



1 Jan.2022 Calendar

1/5 WED 広報1月号、お知らせ版 ★

6 THU 4か月児(R3年8月生)・7か月児健診(R3年5月生)、ブックスタート ♥

7 FRI ★◆

8 SAT

9 SUN マイナンバーカード休日窓口(予約制) 成人式 ◎井上内科クリニック ☎581-2202 成人の日

10 MON

11 TUE 幼稚園、小・中学校3学期始業式 健康相談日

12 WED ★

13 THU 1歳6か月児健診(R2年5月～6月生)

14 FRI ホールボディカウンタ測定日 ★◆

15 SAT 桑折学習塾(中学)

16 SUN ◎大木内科医院 ☎575-3343

17 MON ♥

18 TUE

19 WED お知らせ版 ★

20 THU 一般成人講座「陶芸教室」 ♥

21 FRI ★◆

22 SAT

23 SUN マイナンバーカード休日窓口(予約制)、キッズスクール「風作り」 ◎大山クリニック ☎583-2136

24 MON 館長杯ポッチャ大会 ♥

25 TUE ホールボディカウンタ測定日 すくすくカフェ「ママトーク」

26 WED ★

27 THU ♥

28 FRI 教育委員会定例会 一般成人講座「サンドブラスト教室」① ◆

29 SAT 桑折学習塾(中学)

30 SUN 福田りゅうぞう親子コンサート ◎おの整形外科クリニック ☎527-1055

31 MON ♥

1 TUE

2 WED ★

●イコーゼ ●やすらぎ園 ◎休日当番医 ◆母子手帳交付日  
【子育て支援センター】:イコーゼ 10:00～11:30  
♥ベビールーム(1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者)  
★キッズひろば(1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者)  
▶「すくすく」(☎582-6045)へ事前に予約してください。

Information vol.7

むし歯のない子

3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんを紹介します。これからもむし歯ゼロを目指して歯磨きを続けましょう。


## 図書だより

図遊学館「よも〜よ」 ☎582-5388

今月のおすすめ

### 新しい年に読みたい本



一般書

■ **さよならも言えないうちに**  
川口俊和：著（サンマーク出版）  
「最後」があると分かっていたのに、なぜそれがあの日だと思えなかったのだろう…。『君のおかげで僕が幸せだったことを、君に知っていてほしかった』家族に、愛犬に、恋人に会うために過去に戻れる不思議な喫茶店フニクリフニクラを訪れた4人の男女の物語。シリーズ『コーヒーが冷めないうちに』の第4作目。



児童書

■ **トラといっしょに**  
ダイアン・ホフマイアー：文  
ジェシー・ホジスン：絵  
さくまゆみこ：訳（徳間書店）  
トムはある日、美術館で、ジャングルにいるトラの絵を見ました。家に帰り、トムは大きなトラの絵を描きました。鋭い歯、長いしっぽ、緑色に光る目…。その夜のことで。壁の向こうから、トラがやってきて言いました。「さんぽにいこうよ」。寅年の今年、読みたい絵本です。

## 掲示板

図生涯学習課 ☎582-2408

### 参加者募集「サンドブラスト教室」

- **日時** ①1月28日(金) 9:30～11:30  
②2月4日(金) 9:30～11:30  
③2月18日(金) 9:30～11:30
- **場所** イコーゼ 多目的スタジオ
- **講師** 佐藤久美子さん(町在住)
- **対象** 町内在住者 15人限定
- **参加費** 1人1回500円 (原則として3回参加)
- **申し込み** 1月21日(金)まで
- **準備物** はさみ、カッター、ボールペン、タオル(白でないもの)
- **内容** 身近にあるガラス(皿やグラス)に砂を吹きつけて、好みの模様を入れた作品を作ります。



1\_ 白い目標玉に近づくように狙いを定めて 2\_ あの赤玉にぶつきたい…! 3\_ 体験会に合わせて、インボディ測定も実施

INVITING COMMUNITY  
ZONE FOR EVERYONE

## 生涯学習だより

### ボッチャに挑戦! かやのき学園

パラ五輪で注目されたボッチャに触れ合おうと、ボッチャ体験教室が11月25日に半田、30日に桑折、12月2日に伊達崎の各地区公民館で行われました。

ボッチャとは、イタリア語でボールのこと。初めてボールに触れる人がほとんどでしたが、社会教育指導員の内村勝男さんから基本的なルールとゲームの進め方を聞いて、すぐに試合開始。「習うより慣れろ」の精神で、作戦会議を開いたり、参加者同士でアドバイスしたりしながら、ゲームを進めました。試合を重ねるごとに、ボッチャの奥深さに触れることができました。

1月24日にはイコーゼで「館長杯ボッチャ大会」を開催する予定です。3～5人のチームを編成し、楽しくチーム対抗戦を行います。皆さんの参加をお待ちしています。

## マルベリーこおり

図マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

### マルベリーCUP 第5回バドミントン大会

#### 参加者同士和気あいあいと

第5回バドミントン大会が11月28日、醸芳中体育館で行われました。今大会より、小学生の親子を対象とした「エンジョイ☆ファミリーの部」を追加し、17ペア34人が参加。参加者同士で和気あいあいと交流しながら、バドミントンを楽しみました。

#### ■入賞結果

##### 【一般の部】

▶優勝 野木・野木ペア

- ▶2位 丹治・丹治ペア
- ▶3位 田中・伊藤ペア
- 【ファミリーの部】
- ▶優勝 877(バナナ)
- ▶2位 本田家
- ▶3位 15(イチゴ)



### スノートレッキング 参加者募集

冬しか通れない秘密のルートから頂上を目指して、雪化粧したハートレイクを見に行きませんか。

- **日時** 1月23日(日)
- **行先** 半田山
- **定員** 15人
- **参加料** 会員 1,000円  
未会員 2,000円
- ※スノーシューレンタル有
- ※詳しくは上記事務局まで

### クリスマス飾り作り 体験チャレンジ活動

「木で作ろう クリスマス壁飾り教室」が12月12日、イコーゼで行われました。「ウッドワーク」の田中育子さんを講師に招き、小学生21人がクリスマスの壁飾りに挑戦。最初にA4サイズ・10mm厚の台木を紙やすりで磨きました。次に木片に茶や緑の色をスポンジでつけて、台木にツリーの形になるようにボンドで固定し、星やリボンをつけて完成。ヒノキの香りに包まれながら、木工細工を経験し、木ならではの存在感のある飾りを仕上げました。

### 初めてのタブレット 成人講座

県主催の情報リテラシー向上事業「初めてのタブレット講座」が12月9日、イコーゼで行われ、14人が参加しました。ICT社会を生きる高齢者にとって、タブレットの活用は関心の高い分野です。画面を指で操作するゲームから始まり、写真や動画撮影を楽しみ、音声入力での検索方法や、地図や防災情報へのアクセス方法も学びました。最後は動画閲覧サイトで西山城関連情報を視聴。充実した内容で、タブレットの活用に前向きになれる講座でした。

### 人生百年時代に 終活について学ぶ

「お家もココロもすっきり終活お片づけ」をテーマにした成人向け講座が11月27日、イコーゼで行われ、47人が参加しました。講師はシニアのお片付けコンサルタントの鈴木由佳さん。なぜ片付かないのかの原因や、片付ける時の心構えなどを教えていただきました。「1日5分で」「できることから」など、すぐに実践できる役立つ情報がたくさん紹介されました。参加者からは「今後軽やかに生きるための参考になった」などの感想がありました。

## まちのお知らせ

Town information.

現在、国土交通省で、伊達崎地区の阿武隈川河川敷に、河川を活かした交流の場「多目的広場」を整備しています。完成後は町が管理を行い、自然豊かな水辺と桃源郷を活かした交流展開の場として活用していきます。今年4月のオープンに向けて、広場をより身近に感じ、多くの皆さんに愛され、親んでもらえるように、愛称を募集します。

河川敷に新たな交流の場が生まれます  
「多目的広場」の愛称募集！

- 対象 町に在住・在勤の人
- 応募方法 必須事項を記入の上、下記により応募。
- ①役場で配布の応募用紙による応募
- ②FAX・E-mailによる応募
- 賞品  
最優秀賞（採用作品）…1点（賞状と副賞）  
優秀賞…2点（賞状と副賞）
- 応募締切 1月26日まで



▲カヌーやサイクリング、キャンプなどを楽しめる多目的広場

問い合わせ  
地域整備課 農林土木係  
☎582-2127

もっと暮らしを便利に

## 自宅で安心「マイナンバーカード訪問申請」

職員が、マイナンバーカード申請希望者の自宅へ訪問し、申請受付をするサービスを始めました。完成したカードは後日自宅へ郵送されますので、一度も役場へ行かずに申請できます。

### ■実施期限

2月4日まで

### ■対象者

桑折町に住民登録があり、申請から約1か月以内に町外への転出予定がない人。また、これまでマイナンバーカードの申請をしたことのない人。

### ■用意するもの

- ・個人番号カード交付申請書（QRコード付き）
- ・通知カードまたは個人番号通知書★
- ・住民基本台帳カード（お持ちの人のみ）
- ・本人確認書類
- ★を持っている
  - ▶ Aを1点。  
Aがない場合はBを2点。
- ★を持っていない
  - ▶ Aを2点。  
Aが2点ない場合はAとBを各1点。

- A【官公庁発行の顔写真付書類】運転免許証、パスポート、身体障害者手帳など
  - B【氏名・住所・生年月日が分かるもの】健康保険証、診察券、学生証など
- ※必要書類がそろわない場合、カードは役場での受け取りとなります。また、予約状況により希望日時に添えない場合があります。

申し込み・問い合わせ  
税務住民課 住民係  
☎582-2114

## わたしの夢

Dreams come true.

## 元気を与える動物看護師 松野 遥さん（醸芳中3年生）



MATSUNO HARUKA

高校受験に向けて猛勉強の日々。受験が終わっても、「生涯勉強」をモットーに頑張りたいです。

わたしの夢は、動物看護師になることです。きっかけは、飼い犬が突然病気になった時のことでした。不安な気持ちで病院へ行くと、飼い犬だけでなく、私たちにまで親切にくださった動物看護師さんがいました。その方のおかげでとても安心し、わたしも大好きな動物に寄り添いながら、飼い主も勇気づけられるような存在になりたいと思うようになりました。

今の法律では、動物看護師による治療は認められていません。しかし、ゆくゆく国家資格ができれば、獣医師を補助する治療も行えるようになると言われていています。治療も心のケアも両方できるような動物看護師になりたいです。

## こおりスマイル You have a good smile.



稲村 和真くん

お姉ちゃんたちと仲良く育てね！ ママより♡



氏家 怜くん

お兄ちゃんと仲良く遊んでね！ ママより♡



氏家 澄真くん

元気いっぱい大きく育てね！ パパより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！  
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。  
【応募先】総合政策課 ☎seisaku@town.koori.fukushima.jp QRコードから簡単にメール送信できます。



【認知症対応型 共同生活介護】 グループホーム クローバー

## お部屋が空きました

広告掲載の時点で、満室になる場合がございますので早めにご連絡下さい。

**スタッフ  
同時募集集中!**

ホームページをご覧ください。  
<http://www.clover-kaigo.com/>

✿ グループホームクローバー こおり  
 〒969-1651 福島県伊達郡桑折町大字万正寺字弁天水12  
**tel 024-529-7890** 介護事業者番号 0792000010

農産物直売所 **だてかベジフル**

1月のおすすめ 野菜も各種入荷中

あんぼ柿（蜂屋柿・平核無柿）／みかん  
りんご（サンふじ）／いちご／切花・鉢花

■ 営業時間 9:00～16:00 ■ 電話 024-582-4560  
※天候の関係で、希望の商品の入荷が遅れる場合があります。品切れの際はご了承ください。

品格ある青少年育成に努めています  
公益社団法人日本空手協会福島支部

## 桑折青雲館 空手道場

■ 入会年齢：小学3年生以下募集 ■ 【師範 松原 英男】

谷地字北道合3-10 TEL 024-582-6705、090-2275-6485

# こおり暮らし

## 初出場にして区間上位の好走

### 「家族の存在」が走りの支えに――

町駅伝チーム 朽木 悠翔さんはると（伊達崎）



KUCHIKI HARUTO

アップダウンのあるコースで、18分21秒の好タイムをたたき出した朽木さん。「もう1、2分縮めたい」と意気込みます。

町駅伝チームに所属する朽木悠翔さん。昨年開催の福島県縦断駅伝で7区走者として初出場し、50市町村中17位と、区間上位の堂々たる走りを見せました。

同じくチームの一員である兄まこと楓辰さんの影響で、幼稚園生のころからマラソンの練習へ同行。大会で好記録を出し、チームを引っ張る兄の姿に憧れ、小学4年生の時に本格的に練習を始めました。

年末年始も休まず、週4回の練習を欠かさない悠翔さん。「強さの秘訣は『継続』。風邪でも引かない限り必ず参加し、自主練習もする」ときっぱり。学生時代、陸上部だった父ちか徹さんも仕事帰りに練習に駆けつけ、親子二人三脚で走りを追求。「まだ伸びしろがある。仲間と共に強くなってほしい」とエールを送ります。

「本番のドキドキ感が好き。昔からマラソンや自転車などの競技で大会慣れしているから、今回もあまり緊張せず、最後まで自分のペースで走れた。これからも『粘り強さ』を武器に、記録に残るような走りを見たい」と思いを語りました。

#### 【今月の表紙】

年末年始の忙しなさと同格的な寒さで、体の疲れや冷えを感じるが増える季節。そんな時期にふと立ち止まり、楽しんでいただきたいのが役場前で開催中の「ウィンターイルミネーション」です。桃の木をモチーフにした高さ6mのツリーが登場。この日遊びに来た高野すずちゃんも「うわあ、桃だー」と目をキラキラ。満面の笑みで桃を見上げる姿に、母の美咲さんも嬉しそうに目を細めます▼大切な人と同じ景色を共有する時間。昨年まで思うように過ごせなかったそんなひと時を、今年はじっくり味わえますように（愛莉）

#### ◆人口（前月比）12月1日付

人口	計	11,425人	(+9)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,519人	(±0)
	女	5,906人	(+9)
世帯数		4,623世帯	(+11)
転入など	38人	出生	4人
転出など	16人	死亡	17人

#### ◆今月の納税

- 固定資産税（4期）
- 国民健康保険税（普通徴収7期）
- 介護保険料（普通徴収7期）
- 後期高齢者医療保険料（普通徴収6期）

期限 **1月31日**

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/マイナンバーカード受取・申請・更新 窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日下午5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。